

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/理学療法学科/旧カリキュラム】

科目名		ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
理学療法演習Ⅲ - 1			必修	1	3	前期
担当教員		研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
粕山 達也 他		D311	kasuyama		月曜日 13:00~14:40	
授業の目的・概要	臨床実習では、様々な疾患に対する理学療法における臨床思考過程を理解することや、取りまとめる力が必要になる。また、実際の医療現場では、他者に考えを伝えるための能力が必須である。そのため、本演習では、模擬症例を用いたペーパーシュミレーション学習を行い、臨床における思考過程を模擬的に経験するとともに、統合と解釈の方法について習熟する。同時双方向型授業においては Teams を利用した疾患と理学療法展開について学習する。					
学習上の助言	整形外科および神経内科における疾患についての知識、理学療法評価学および診断学で学んだ評価内容についての知識が必要となる。 画像所見をみて、評価を考える必要があるため、整形外科や神経内科の講義内容の復習をしておくことが望ましい。					
教科書	指定しない					
参考書	無し					
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針		
①	対象疾患に関する情報を収集し、意見をまとめて発表することができる。			PT (2)、(4)、(6)		
②	対象疾患の理学療法に関して、問題点を抽出して対応することができる。			PT (2)、(4)、(6)		
③	各疾患に関する思考過程について整理し、内容について討議することができる。			PT (2)、(4)、(6)		
④						
⑤						
⑥						
授 業 計 画						
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)			
1	オリエンテーション。 第 1 症例を提示する。(変形性股関節症) [担当:粕山達也]	対面講義	変形性股関節症について学習し、科目教員と意見交換を行う。			
2	第 1 症例に関する基本的な情報や必要な評価項目について学習を行う。 [担当:粕山達也]	対面講義・GW				
3	第 1 症例の基本的な情報や必要な評価項目について学習および討議を行う。 [担当:粕山達也、その他の教員]	対面講義・GW				
4	第 1 症例における評価の思考過程について学習する。 第 2 症例を提示する。(脳血管障害) [担当:粕山達也]	対面講義・GW	課題に対するフィードバックをもとに修正する。			
5	第 2 症例に関する基本的な情報や必要な評価項目について学習を行う。 [担当:粕山達也]	同時双方向型授業	脳血管障害について学習し、科目教員と意見交換を行う。			
6	第 2 症例の基本的な情報や必要な評価項目について学習および討議を行う。 [担当:粕山達也、その他の教員]	対面講義・GW				
7	第 2 症例における評価の思考過程について学習する。 第 3 症例を提示する。(関節リウマチ) [担当:粕山達也]	対面講義・GW	課題に対するフィードバックをもとに修正する。			
8	第 3 症例に関する基本的な情報や必要な評価項目について学習を行う。 [担当:粕山達也]	対面講義・GW	運動器疾患と中枢疾患に関する学習を行い、科目教員と意見交換を行う。			
9	第 3 症例の基本的な情報や必要な評価項目について学習および討議を行う。 [担当:粕山達也、その他の教員]	対面講義・GW				
10	第 3 症例における評価の思考過程について学習する。 第 4 症例を提示する。(パーキンソン病) [担当:粕山達也]	対面講義・GW	課題に対するフィードバックをもとに修正する。			
11	第 4 症例に関する基本的な情報や必要な評価項目について学習を行う。 [担当:粕山達也]	対面講義・GW	運動器疾患と中枢疾患に関する学習を行い、科目教員と意見交換を行う。			
12	第 4 症例の基本的な情報や必要な評価項目について学習および討議を行う。 [担当:粕山達也、その他の教員]	対面講義・GW				
13	第 4 症例における評価の思考過程について学習する。 [担当:粕山達也]	対面講義・GW	課題に対するフィードバックをもとに修正する。			
14	第 1~4 症例の思考過程を整理する。 [担当:粕山達也]	対面講義・GW	課題の問題点を整理する			
15	これまでの学習の総括。 [担当:粕山達也]	対面講義・GW	配布された資料を読む。			
試	定期試験 達成度評価・評価のポイント参照					

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/理学療法学科/旧カリキュラム】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計	
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他		
		0	100	0	0	0	100	
総合 力 指 標	知識・技術力	0	50	0	0	0	50	
	思考・推論・創造する力	0	20	0	0	0	20	
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0	
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0	
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0	
	取組みの姿勢・意欲	0	20	0	0	0	20	
	問題を発見・解決する力	0	10	0	0	0	10	
評価のポイント						フィードバックの方法		
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点						
試験	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
レポート	①	✓	模擬症例に対して講義内で討議した内容をふまえ、提示された評価結果をもとに「統合と解釈」、「問題点の抽出」や「ゴール設定」について分かりやすくまとめる。				レポートの添削、講評を行う。	
	②	✓						
	③	✓						
	④							
	⑤							
	⑥							
成果発表	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
ポートフォリオ	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
その他	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
備 考								
<p>担当教員：◎粕山 達也 関口 賢人、高村 浩司、三科 貴博、関根 聡美、玉木 徹、駒形 純也、坂本 祐太、遠藤 悠介、大塚 篤也、甘利 貴志</p> <p>教員の実務経験：病院、訪問リハビリテーション施設等で理学療法士としての実務経験あり。</p> <p>実践的授業の内容：代表的な疾患に関するペーパーペイシエントを使用して行い、臨床的な理学療法の思考を学習する。</p> <p>*全て面接授業で実施する予定である。大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を厳守すること。 問題がある場合は面接授業の参加は認めない。 状況に応じて、一部の講義においては、Teams を用いた同時双方向型授業を行う。授業時は通信量が無制限の Wifi 環境を推奨する。今後のコロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更がある可能性がある。</p>								